

関係機関長 殿

沖縄県病害虫防除技術センター所長  
( 公 印 省 略 )

病害虫発生予察注意報について

平成 31 年度病害虫発生予察注意報第 4 号を公表したので送付します。

平成 31 年度病害虫発生予察注意報第 4 号

- 1 作物名 さとうきび
- 2 害虫名 メイチュウ類 (カンシャシンクイハマキ及びイネヨトウ)
- 3 発生地域 沖縄本島周辺離島 (伊是名村、伊平屋村、久米島町等)
- 4 注意報発令の根拠
  - (1) 伊是名村、伊平屋村、久米島町における 2 月の新植夏植ほ場での芯枯れ調査 (各地区 12 ほ場) の結果、芯枯茎率が 15.0% (伊是名村)、14.3% (伊平屋村)、17.3% (久米島町) で沖縄本島の約 2 倍と高かった (表 1)。
  - (2) メイチュウ類の発生量を沖縄本島の平年値と比較すると、本島が並であったのに対し、各離島はやや多であった (表 1)。

表 1 各地域におけるメイチュウ類の芯枯茎率

| 地域名  | 芯枯茎率 (%) | 発生量 ※ |
|------|----------|-------|
| 沖縄本島 | 6.3      | 並     |
| 伊是名村 | 15.0     | やや多   |
| 伊平屋村 | 14.3     | やや多   |
| 久米島町 | 17.3     | やや多   |

※ 対沖縄本島の平年値(6.8%)より

- 5 発生生態および被害
  - a 被害ほ場及びイネ科雑草が発生源となり、ほ場に侵入する。
  - b ふ化幼虫は葉鞘の内側を下降して節部の芽や根帯から食入し、生長点を加害して芯枯れ (図 1、2、3) を起こす。
    - (1) カンシャシンクイハマキ (図 4)
      - a 沖縄では年 6 ~ 7 世代を重ね、周年発生する。
      - b 卵は葉や茎に 1 ~ 数卵ずつ産み付けられ、1 雌当たりの生涯産卵数は 200 ~ 500 卵に達する。
      - c 被害はほ場内に散在的に発生する。
    - (2) イネヨトウ (図 5)
      - a 沖縄では年 5 ~ 7 世代を重ね、周年発生する。
      - b 卵は葉鞘の裏側に卵塊で産み付けられ、1 雌当たりの生涯産卵数は 400 ~ 700 卵に達する。
      - c 初期被害はほ場周縁部で見られ、ほ場内でスポット状や畝に沿って被害が拡大する。被害が集中

的に起こるため、生育初期に加害されると坪枯れを起こすこともある。

## 6 防除上注意すべき事項

- (1) ほ場および周辺の除草を徹底する。
- (2) 発芽揃期から有効分けつ期の芯枯れを防止するため、食入初期の幼虫を対象に薬剤防除を行う。
- (3) 乳剤の場合は、葉鞘内に薬液が浸透するように丁寧に散布する。粉剤の場合は、茎と葉元の間に散布し、降雨や散水等により溶解させ、葉鞘内部へ浸透させることで防除効果が高まる。
- (4) 薬剤防除後、2～3週間において再度防除を行うことで防除効果が高まる。
- (5) 培土時には土壌害虫の防除を兼ねた薬剤（粒剤）を施用する。
- (6) 被害の多い地域では薬剤による一斉防除を行う。



図1 伊是名村被害ほ場



図2 伊平屋村被害ほ場



図3 久米島町ほ場



図4 カンシャシクイハマキ幼虫

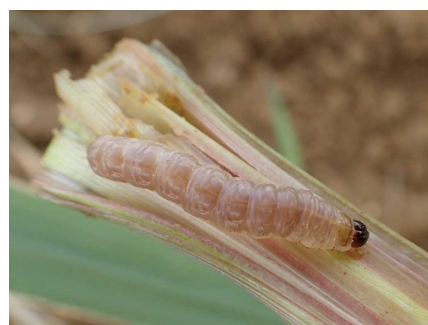


図5 イネヨトウ幼虫

★詳しくは沖縄県病害虫防除技術センターにお問い合わせ下さい★

TEL : (本所) 098-886-3880、(宮古駐在) 0980-73-2634、(八重山駐在) 0908-82-4933

ホームページアドレス : <http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichuboj/index.html>